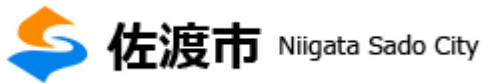


2023年8月25日

9月1日「防災の日」に合わせて協定式を開催 新潟県内初、佐渡市と青山商事が防災に関する連携協定を締結 ～災害時に毛布・衣類調達や離島地域の安全安心を支援～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山^{おさむ}理）は、新潟県佐渡市と「防災に関する連携協定」を締結し、9月1日（金）に佐渡市役所にて協定式を開催します。またこの締結に際して、同日に防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）100枚を寄贈いたします。なお、防災に関する連携協定の締結は、自治体として熊本県天草市に続き2例目、新潟県内では初の取り組みとなります。



協定式 概要

日時：2023年9月1日（金）10:00～

場所：佐渡市役所 本庁舎3階 大会議室（新潟県佐渡市千種232）

主な出席者：佐渡市 市長 渡辺竜五 様

青山商事株式会社 取締役 兼 専務執行役員 山根康一、洋服の青山 佐渡店 店長 伊東隆文

寄贈品：防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）100枚／1枚あたりのサイズ 200cm×140cm

佐渡市には、2020年・2022年にそれぞれ防災毛布を100枚ずつ（計200枚）寄贈し災害対策の備えにお役立ていただいています。この度は、更なる防災・災害支援活動を通じて佐渡市の地域防災力の向上に寄与することを目的として連携協定を結ぶこととなりました。

■協定における連携項目

1. 防災毛布・衣類等の提供や調達の支援に関すること（防災・災害時の支援）
2. 地域の安全・安心の確保や支援に関すること
3. その他、本協定締結後に両者が協議し合意した事項に関すること



2022年9月1日 2回目の防災毛布贈呈の様子
（左：洋服の青山 伊東店長、右：渡辺市長）

当社では、2018年よりお客様から下取りしたスーツの一部をリサイクルし、防災毛布を作製しています。2019年からは、その防災毛布を自治体へ寄贈する取り組みを開始。これまでに国内の計7箇所・総数1400枚を寄贈してきました。また、中期経営計画「Aoyama Reborn 2023」において、SDGsを重視したESGへの取り組みを強化しております。佐渡市も「2022年度SDGs未来都市」「2023年度自治体SDGsモデル事業」に内閣府から選定されるなど積極的に取り組まれています。本協定では、防災・減災に関する施策を連携して行うことで、地域課題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指していきます。

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 岩永、長谷部
〒110-0005 東京都台東区上野4-5-10 TSC TOWER 7F
TEL:03(5846)5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。